



平成 23 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 山陽特殊製鋼株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤原 信義
(コード番号 5481)
問合せ先 経営企画部長 須多 敦子
(TEL. 079-235-6005)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 4 月 27 日開催の取締役会において、平成 23 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当(期末配当)を下記の予定とすることを決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当の内容

| | 決定額 | 直近の配当予想 (平成 22 年 10 月 28 日公表) | 前期実績 (平成 22 年 3 月期) |
|-------------|------------------|----------------------------------|------------------------|
| 基 準 日 | 平成 23 年 3 月 31 日 | 同左 | 平成 22 年 3 月 31 日 |
| 1 株当たり配当金 | 5 円 | 未定 | 0 円 |
| 配 当 金 の 総 額 | 806 百万円 | — | — |
| 効 力 発 生 日 | 平成 23 年 6 月 9 日 | — | — |
| 配 当 原 資 | 利益剰余金 | — | — |

2. 理由

当社は、経営基盤の強化に努めるとともに配当可能利益を拡大することにより、株主の皆様への利益還元を行うことを基本方針としております。配当につきましては、期間業績に応じた利益配分を基本としつつ、配当性向および「企業価値向上」のための投資等への所要資金などを勘案して、株主の皆様のご期待に応えたいと考えております。連結業績に応じた利益配分の指標としては連結配当性向 20%程度、単独配当性向 30%程度を基準といたしますが、当面は企業価値向上のための基盤強化と財務体質改善が最優先課題であることから、連結配当性向 15~20%程度、単独配当性向 20~30%程度と、基準に比べ、やや抑制した水準を目安とさせていただき、中間期末および期末の剰余金の配当を実施することといたしております。

当期末(平成 23 年 3 月 31 日)を基準日とする剰余金の配当につきましては、これまで未定とさせていただいておりましたが、当期の業績が 78 億 22 百万円の当期純利益となりましたため、上記に記載の基本方針に則り実施することといたしました。

なお、当該配当につきましては、平成 23 年 5 月 16 日開催の取締役会の決議を経て実施する予定です。

(参考) 年間配当の内訳

| 基 準 日 | 1 株当たり配当金 (円) | | |
|---------------------|---------------|-----|------|
| | 第 2 四半期末 | 期末 | 年間 |
| 当 期 実 績 | 5 円 | 5 円 | 10 円 |
| 前期実績 (平成 22 年 3 月期) | 0 円 | 0 円 | 0 円 |

以 上